

# 報 道 資 料

発表年月日 平成28年10月20日

担当部署名 奈良県医療政策部保健予防課

係・担当者 感染症係 辻本・根津

連絡先 0742-27-8612 (内線 3135・3142)

## 感染症の注意喚起～感染性胃腸炎の集団発生について～

県内の幼稚園において、感染性胃腸炎の集団発生事例（10名以上の発症）がありました。今シーズン（9月開始）初発の集団発生事例となりますので、注意喚起のため報道発表します。

### 1 発症者の状況

・発症者数（10月19日 17時現在） 14名

・発症者内訳

園児 （発症者数／園児数）

13名／90名（男 6名／46名、女 7名／44名）

内訳：3歳児 1名／36名、4歳児 1名／23名 5歳児 11名／31名

職員 （発症者数／職員数）1名／9名（女 1名／9名）

・症状 嘔吐・下痢・発熱

・現在の状態（10月19日17時現在）

有症者 2名（男1名 女1名） 快方に向かっている。入院者・重症者 0名

・休園 10月20日～21日までの2日間

### 2 検査結果

・園児2名（男1名 女1名）の検便を保健研究センターで実施し、2名ノロウイルス陽性と判明。

### 3 施設について

施設名 広陵町立広陵西第二幼稚園（こうりょうちょうりつこうりょうにしだいにようちえん）

所在地 広陵町平尾512 TEL：0745-55-3182

施設長 杉岡 千栄子（すぎおか ちえこ）

園児数 90名（男46名、女44名） 職員数 9名（女9名）

### 4 経過

10/17 中和保健所に広陵西第二幼稚園より下痢・嘔吐等の欠席者多数との報告を受ける。

10/18 保健所が現地調査。

10/19 保健研究センターで園児2名（男1名、女1名）の検便実施しノロウイルスと判明

### 5 感染拡大防止のための対応

保健所は園に対して、園内の消毒の徹底など感染拡大防止対策の徹底を指導。園児及び職員の健康状態の把握と保健指導（手洗いの励行、消毒、便・吐物の適切な処理方法等）の徹底を指導。

### 6 感染性胃腸炎の防止策

・感染性胃腸炎のほとんどはウイルスが口を介して侵入します。食事の前には、必ず十分な手洗いを！

・吐物や汚物の処理は、使い捨て手袋やマスク着用し、消毒液（次亜塩素酸ナトリウム）で消毒を！

### 7 その他

・昨シーズン初の集団発生の報道発表は、平成27年10月5日で1施設、発症者10名。

※集団発生の定義（1施設、1週間以内に概ね10名以上発症で2名以上の確定診断）

## 【ノロウイルスについて】

- ・ノロウイルスは感染性胃腸炎の原因となるウイルスです。
- ・潜伏期間は24時間～48時間です。
- ・嘔吐・下痢が主症状で、ウイルスは症状がなくなった後も3～7日間ほど患者の便中に排出されるため注意が必要です。
- ・乳児から高齢者まで幅広く感染します。一般に症状は軽症であり治療を必要とせずに軽快しますが、まれに重症化する例もあるため高齢者や乳児では注意が必要です。
- ・ノロウイルスの感染予防には、流水、石けんによる手洗いの励行と、吐物や下痢便の適切な処理（次亜塩素酸ナトリウム）が重要です。
- ・調理の際には、ウイルスが検出されやすい二枚貝などの食品は、十分加熱することが重要です。

※特徴などの概要は以下のとおり。

		ノロウイルス
特徴	科名	カリシウイルス科
	大きさ	直径約38nm
	形状	球形
	感染経路	経口感染
	潜伏期間	12～48時間
	主症状	下痢、嘔吐、発熱
	有症状期間	概ね3日以内
	症状消失後	1～2週間ほどウイルスが便中に排出されるため、二次感染に注意が必要